

研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Kataoka H., Ohe T., Takahashi K., Nakamura S., Mashino T., *Bioorg Med Chem Lett*, **26(19)**, 4565–4567(2016).

[その他]

- 1) 片岡裕樹, C型肝炎疾患治療薬を指向したフラレン誘導体の創製, 埼玉県薬剤師会雑誌, **43(8)**, 14–17(2017).

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) Kataoka H., Takahashi K., Ohe T., Nakamura S., Mashino T., Synthesis of multi-target fullerene derivatives with both HCV RNA polymerase inhibitory and antioxidant activities for the treatment of HCV-related disease, The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, December, Honolulu (2015).

[国内学会]

- 1) 片岡裕樹, 熊本浩樹, 窪田豊, 清水将貴, 野口陽香, 土屋慶, 杉村真奈香, 住吉昭彦, 山崎龍之介, 高尾昌宏, 藤井瞳, 松本奈穂美, 谷拓紀, 坂口めぐみ, 小野寺遼太郎, 原ロー広, 毒性の低い抗HCV薬を指向した4'-チオヌクレオシド誘導体の合成研究, 日本薬学会第138年会, 3月, 金沢(2018).
- 2) 片岡裕樹, 大澤理輝, 眞野修平, 船越崇史, 平田裕輔, 天賀谷拓也, 原ロー広, 新規1',2'-ジフルオロ-2'-デオキシヌクレオシドの合成研究, 第61回日本薬学会関東支部大会, 9月, 東京(2017).
- 3) 片岡裕樹, 高橋恭子, 大江知之, 中村成夫, 増野匡彦, HCV RNAポリメラーゼ阻害活性を有するプロリン型フラレン誘導体の抗酸化活性, 日本薬学会第137年会, 3月, 仙台(2017).
- 4) 片岡裕樹, 高橋恭子, 中村成夫, 大江知之, 増野匡彦, HCVポリメラーゼ/プロテアーゼを阻害する二重標的型フラレン誘導体の創製, 第60回日本薬学会関東支部大会, 9月, 東京(2016).
- 5) 片岡裕樹, 高橋恭子, 大江知之, 中村成夫, 増野匡彦, HCV RNAポリメラーゼ阻害活性を有するプロリン型フラレン誘導体の抗酸化活性, 日本薬学会第136年会, 3月, 横浜(2016).
- 6) 片岡裕樹, 高橋恭子, 大江知之, 中村成夫, 増野匡彦, HCV RNAポリメラーゼ阻害活性を有する新規プロリン型フラレン誘導体の創製, 日本薬学会第135年会, 3月, 神戸(2015).
- 7) 片岡裕樹, 秋葉智紘, 高橋恭子, 大江知之, 中村成夫, 増野匡彦, HCV RNAポリメラーゼ阻害活性と抗酸化活性を有するフラレン誘導体の創製, 日本薬学会第134年会, 3月, 熊本(2014).

3. その他特筆すべき研究業績

- 1) 片岡裕樹, 炭からはじめる医薬品創製, 日薬研究会, 4月, 埼玉 (2017).
- 2) 片岡裕樹 (代表), 日本薬科大学学術研究助成金 (日本薬科大学), 抗ウイルス剤、抗がん剤を指向した新規フッ素導入型ヌクレオシド誘導体の創製研究, 35万円(2017–2018).
- 3) 片岡裕樹 (代表), 博士課程学生研究支援プログラム (研究科推薦枠) (慶應義塾大学), C型肝炎ウイルス関連疾患治療薬を目指した多標的型フラレン誘導体の創製, 50万円(2015).

Ⅱ. 教育業績

1. 担当授業科目

2017年度

- 1) 薬学総合演習Ⅱ（薬学科，6年生），2コマ.
- 2) 総合薬学勉強会（薬学科，6年生），3コマ.
- 3) 有機化学実習（薬学科，2年生）.
- 4) 薬学実習プレ教育（薬学科，4年生），6コマ.
- 5) 生薬・漢方実習（薬学科，2年生）.
- 6) 薬剤師の使命（薬学科，1年生）.
- 7) 薬学総合演習ⅠA（薬学科，6年生），3コマ.

2. その他特筆すべき教育業績